

平成 21 年度 金沢大学がん研究所共同研究合同ミーティング

平成 22 年 1 月 16 日 金沢大学 がん研究所

共同研究：

1. 課題名：胃癌幹細胞における CD44 の発現意義とその機能解析
慶應義塾大学 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門 佐谷秀行 教授
金沢大学がん研究所 腫瘍遺伝学 大島正伸 教授
2. 課題名：分子イメージングによる幹細胞可視化法の開発
(財) 癌研究会 癌研究所 がん生物部 原 英二 部長
金沢大学がん研究所 遺伝子染色体構築 平尾 敦 教授

本年度採択された共同研究のうち上記 2 課題について、がん研究所において、合同ミーティングを行いました。両研究課題は昨年より継続されており、二回目となる本合同ミーティングには、4 研究室から計 24 名が参加しました。それぞれの研究室からは、この一年間の共同研究の成果、進捗状況についての発表がありました。大学院生を含む若手中心の発表であり、日頃のラボミーティングの延長のような熱い議論が交わされました。研究室間の強い協力関係を構築し、今後の研究を推進するための有意義なミーティングとなりました。



H22 年 1 月 16 日 金沢大学がん研究所にて

共同研究の成果・進捗状況の発表

村口輝行

金沢大がん研・がん幹細胞研究センター・
遺伝子・染色体構築

**TGF β signaling links neural stem cell
homeostasis and malignant glioma progression**



今井良紀

癌研究会癌研究所・がん生物部

細胞老化の発癌促進作用についての検討



大島浩子

金沢大がん研・がん幹細胞研究センター・
腫瘍遺伝学

胃がん発生における細菌感染刺激



石本 崇胤

慶應義塾大・先端医科学研究所・遺伝子制御部門

**The new role of CD44 in gastrointestinal cancer
cells**



活発なディスカッション



ミーティング後の懇親会

